

蕨 広報WARABI 12

2019/令和元年
わらび・828

- 令和元年12月1日発行／発行所・蕨市役所
- 11月1日現在人口：75,644人 前月比 -25人
世帯数：39,561 人口密度：14,803人／km²
- 蕨市の面積 5.11km²



～今月の特集～

- 市制施行60周年記念式典… 2
- 視覚障害者へのサポートを考える…… 5

市制施行60周年記念
キャッチフレーズ

笑顔 希望 ずっとぎゅっと蕨

～今月の表紙～ 南小アイマスク体験

南小学校で4年生がアイマスクを着けた歩行を体験(関連9頁)。5頁からは視覚障害者へのサポートに関する特集です。



蕨市立南小学校

蕨市市制施行60周年記念式典
 頼高英雄蕨市長式辞（一部抜粋）

蕨市は、この60年間、市民の皆さんの素晴らしい地域力に支えられながら、日本一のコンパクトシティとして、住みよいまちづくりが着実に進んできました

市民の皆さんが、まちへの高い愛着と

「自分のまちは自分で創る」

との気概をもって

積極的にまちづくりに参加し、

歴史と文化・コミュニティの豊かさ

と利便性の高さを併せ持つ蕨は、

正に、全国モデルとなる

まちづくりを進める力があると

確信しています

蕨の素晴らしい

地域力を生かして、

これからも、全国に誇れる

蕨のまちづくりを進めていきたい

と決意しています



①



③



②

—蕨市市制施行60周年記念式典—

更なる飛躍の
 第一歩を

皆さんと祝った市制60周年

秋晴れに恵まれた11月2日、市民会館で蕨市市制施行60周年記念式典が開催されました。おおぜいの市民の皆さんをはじめ、来賓として大野元裕埼玉県知事や他自治体の代表者など、総勢720人が出席し、60周年をお祝いしました。

第一中学校音楽部と蕨フィル



④

市長式辞全文は市ホームページで御覧いただけます。



⑥



⑤



①②式辞を述べる頼高英雄
蕨市長 ③720人が出席し
会場は満席に ④第一中学
校音楽部と蕨フィルハーモ
ニックウインズの皆さんが
オープニングを飾りました
⑤自治功労者表彰で受賞者
を代表して6人に賞状が授
与されました（左から今井
良助さん、北澤仁さん、齋
藤喜賢さん、富樫三重子さ
ん、梅原眞佐留さん、宇佐
美智子さん）⑥けやき文化
賞を受賞しブロンズ像を受
け取る坂田明さん ⑦蕨市
にゆかりのある著名人から
のメッセージ映像 ⑧記念
講演を行う小島奈津子さん



⑧



⑦

ハーモニックウインズの演奏で幕を開けた式典。頼高英雄蕨市長の式辞の後、来賓の皆さんからご祝辞をいただいたほか、THE ALFEEの高見沢俊彦さんをはじめとする蕨市ゆかりの著名人の皆さんによるメッセージ映像が紹介されました。

続いて行われたのが、地域文化や市政の発展に寄与されたかたがたの表彰式です。けやき文化賞は市民音楽祭にも出演していただいているミュージシャンの坂田明さんが受賞し、自治功労者表彰では受賞者78人を代表して6人が登壇し、賞状が授与されました。このほか、市制施行60周年記念作文の表彰式が行われ、1009点の応募の中から最優秀賞に輝いた芹澤菜々美さんは作文を朗読してくれました（4ページ参照）。

第2部では蕨市出身でフリーアナウンサーの小島奈津子さんの記念講演が行われ、式典を大いに盛り上げてくれました。

こうして、たくさんの祝福を受けた蕨市。更なる飛躍に向けた契機となる、60周年にふさわしい式典となりました。

蕨市の活性化のために

せりざわ な な み
芹澤 菜々美さん 第二中学校3年

市制施行60周年を記念して、「わたしたちのまち
わらび」をテーマにした作文を募集したところ、1,009
点の作文が寄せられました。ここでは最優秀賞に輝
き、式典で朗読された芹澤さんの全文を紹介します。

イベント支えるみんなの力

私の思う蕨の良いところ、それは、あたたかい人がたくさんいること、そして、多くの人が楽しめるイベントがあることです。私は学校の吹奏楽部の活動でいろいろな地域のイベントに参加させていただいており、応援してくださる方々を見るたびにとてもうれしくなります。

そもそも、私が中学校で吹奏楽部に入ったのも、この地域のイベントがきっかけでした。当時の吹奏楽部の素晴らしい演奏と、お客様の楽しそうな顔を見て、私もこんな風に誰かを笑顔にしたい、と思ったからです。今考えてみれば、このイベントがなければ私は吹奏楽をやっていなかったかもしれないので、人と人とを結びつけるような交流の場所はとても大切だと思いました。

もちろん、演奏する側になった今では、より多くのことを感じています。市民音楽祭や定期演奏会などで、蕨市民会館のホールで演奏させていただいた時、その裏では、私たちのために舞

台のライトの色を替えたり、緞帳^{きんづ}の上げ下げをしたり、ステージの組み立てをしたりと、様々なところでスタッフの方々に世話になりました。私は、吹奏楽部の部員になるまでは、裏では多くの人が動いていて、その方々の支えのおかげで舞台が成り立っている、などと考えたこともありませんでしたが、今はこのことに対して感謝の気持ちでいっぱいです。蕨市で多くのイベントが開催されているのは、裏で支えてくださるスタッフの方々の存在と見てくださるお客様の存在があつてのことで、私たちはそれを忘れてはいけな

交流広げてよりよいまちに

また、蕨市は、五・一一平方kmの中に七万人以上の人が暮らしている、コンパクトシティではありますが、人が多いということはある程度、人と人との交流が増えるということでもあり、そこからイベント内で協力し合う姿勢や、より知り合いが増えて楽しくなるなど、市の活性化にもつながっているのだと思います。

私は、人と関わることできる、このようなイベントがたくさんある蕨市がとても好きです。なので、もっと多くの人に様々なイベントに参加してほしいと思います。私が部活動を通して人との関わり大切さを知ったように、みなさんにもいろいろな感じとってほしいからです。

今、私たちが蕨市のためにできることは、開催されるイベントに、積極的に参加して、一緒に楽しむことだと思います。そして、そこから得る経験は、きっと自分にとってプラスになると思います。自分の住んでいる蕨市をもっとよりよいものにしていくために、私もできるだけ参加して大きな魅力の一つになるようにしていきたいです。



▲満員の来場者を前に堂々と作文を披露

思いを皆さんに届け、晴れやかな表情の芹澤さん

視覚障害者へのサポートを考える



もしも、街なかや駅のホームなどで目の不自由な人が困っているのを見かけたら、あなたはどのような対応をしますか。

ここ5ページから13ページまでの特集は「視覚障害者へのサポートを考える」。12月3日から9日までが障害者週間でもある今回は、このテーマについて皆さんといっしょに考えてみたいと思います。

Ｊ 蕨駅のホームで盲導犬を連れた男性が転落し、亡くなられた事故から、まもなく3年がたとうとしています。

この事故を受けて、市では目の不自由な人への声かけサポートの啓発を駅利用者などに実施（関連8ページ）。また、ＪＲ東日本に対して、蕨駅ホームドアの早期設置を要望し、ホームドアの設置が当初の予定よりも1年前倒し（関連12ページ）になるなど、ソフト・ハードの両面で取り組みが進められています。

視

覚障害のある人は現在、市内に約130人。全国には約30万人。全国には約30万人。全国には約30万人。

人いるといわれています。駅のホームに限らず、車が行き来する街なかなども含めて、視覚障害のある人の安全をどのように確保していくのか。あのような痛ましい事故が二度と起きないように、私たち一人ひとりにできることがあるはず。

危険な行動を取っていたら

けてください。皆さんへのお願いです」

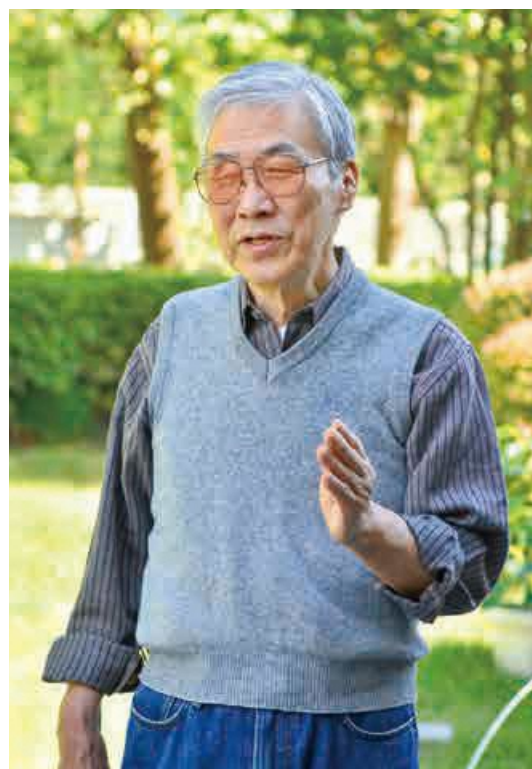
「事故にあった男性とは、面識はありませんでしたが、同じ境遇のかたですし、やはり胸が痛みますね」と、静かな口調で当時のことを振り返る古俣さん。

日が傾くのが早くなり、秋の訪れを感じ始めた10月初旬。事故のこと、そして視覚障害のある立場から伝えたいことを伺いました。

安全の確保に必要な周囲のサポート

慣れ親しんだ場所でも失ってしまう方向感覚

古俣さん自身、約25年前に両目の光を失いましたが、リハビリを経て、今では近所であれば一人で外出が可能です。そのときに頼りにしているのが右手に持つ白杖（関連7ページ）と耳から入る情報、そして生まれ育った街並みの記憶です。



こまた さだお
古俣 貞夫さん
(南町在住・74歳)

蕨市視覚障害者協会会長。網膜剥離のため、40代で両目を失明。その後、埼玉県総合リハビリテーションセンターで訓練を経た後、マッサージ・鍼灸の資格を取得し、仕事に就く。63歳で退職後、4年前から現職



近所であれば一人で外出が可能な古侯さん



平成29年1月14日、午前7時10分頃、JR 蕨駅のホームで、盲導犬を連れた男性（川口市）が線路上に転落し、入線してきた電車にはねられて亡くなった。

そこでまずは、蕨市視覚障害者協会会長の古侯貞夫さんにお話を伺いました。

街なかや駅のホームで困っていたり、

「迷わず、声をか

～白杖とは？～

視覚障害のある人の歩行に欠かせない物で、次の3つの役割があります。

- 1、障害物に衝突するのを防ぐ
- 2、周囲の様子を探る
- 3、目が不自由なことを周囲の人に伝える



「そんなときは、『その白杖を持った人、危ないから止まって』といった具体的な声をかけてくれると助かりますね」と教えてくれました。

**家に籠もり崩した体調
外出増やし健康改善へ**

現在、蕨市視覚障害者協会の会長を務めるほか、市内で点訳作業や点字の勉強を行う点字サークルあじさいの一員でもある古侯さん。学校に足を運び、体験教室を行いながら、子どもたちに視覚障害のある人の現状やサポートのしかたを伝えています（下写真・

関連11ページ）。

そんな古侯さんですが、退職後、家に籠もりがちで体調を崩したことも。しかし、仲間のサポートによって外出機会を増やし、今では健康状態も万全です。「皆さんのおかげで外出でき、数年前からは山登りにも挑戦しています」と笑みを浮かべます。

街なかや駅のホームで

白杖を掲げたらSOS

最後に視覚障害のある立場から、市民の皆さんに伝えたいことを伺いました。

「いくら訓練を積んでも、慣れ親しんだ道でも、私たちが安全に外出するためには、皆さんのサポートが必要です。もしも、視覚障害のある人が街なかや駅のホームで立ち止まっていたり、周囲を見渡し

ていたりしたら、方向感覚を失っている可能性が高いです。また、白杖を上に掲げていたら、SOSのサイン。そうしたときは迷わず、声をかけてください。それが皆さんへのお願いです」と、力強く言葉を結びました。

視覚障害のある人たちの安全確保のためにできること。続く8、9ページでは声のかけ方について紹介します。



中学生にサポートの方法を実演する古侯さん（7月5日・第二中学校）

ある人へのサポートのしかた

～声かけサポートの手順～

- ① まずは声かけ
- ② ガイドが必要か確認
- ③ どんな方法がよいか確認
- ④ 黙ってその場を離れない

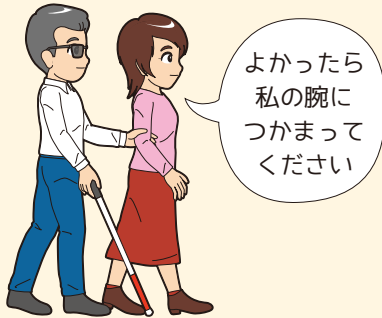
基本 ～困っていたら「まずは声かけ」～



○困っているようだったら、相手に近づいて、「なにかお手伝いすることはありますか」など、声をかけてみましょう。

○こちらの申し出を断っても気にしないでください。

基本 ～サポートをするときの基本姿勢～



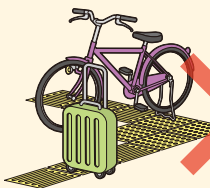
○「どのようにお手伝いしましょうか」と聞いてからサポートを行います。

○誘導の基本形は白杖を持っていない側の半歩前に立ち、視覚障害のある人に腕をつかんでもらいます。

※盲導犬を同伴している場合は、盲導犬の歩幅も考慮します。なお、盲導犬に触れたり、声をかけたりしないでください。

禁止 ～絶対にしないでください～

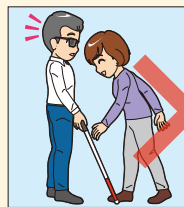
点字ブロック
上に物を置く



歩き
スマホ



白杖をつかむ



後ろから押す



勇気を出して一声を 声かけサポート

私たちにできること／街なか編

サポートの方法が分からなければ、声をかけづらいものです。ここではイラストを使って、その方法を紹介するほか、市内で行われた取り組みをお伝えします。

同

年5月には、蕨市と埼玉県との共催で蕨駅のホームで講習会を実施。サポート方法の講義や視覚障害のある人からの話を聞いた後、アイマスクを

■
を紹介したちらしを手渡し、協力を呼びかけました。

目

の不自由な人への周囲からのちょっとした声かけが、事故の防止につながります。



駅利用者へ声かけを啓発(平成29年1月24日)



◆ 南小アイマスク体験(11月12日)

蕨市社会福祉協議会の協力の下、児童88人が目の不自由な人の立場、サポートする人の立場の両方を学びました。



やまだ いお
山田 衣桜 さん
南小学校 4年

アイマスクをすると階段や曲がり角が分からず、怖かったです。目の見えない人の気持ちが分かったので、手助けが必要なのは力になりたいと思います。



◆ 福祉体験パレード(11月17日)

民生委員や福祉団体の皆さんのほか、東小児童が参加し、駅前通りのパレードを通じて障害への理解を深めました。



なかむら はると
中村 陽斗 さん
東小学校 4年

サポートするとき、電柱などにぶつからないように案内するのがたいへんでした。参加することで、正確に声をかけたいせつがよく分かりました。

市内で行われたサポートを学ぶ取り組み

イラストで解説！ 視覚障害の

応用 ～駅ホームでのサポートのしかた～

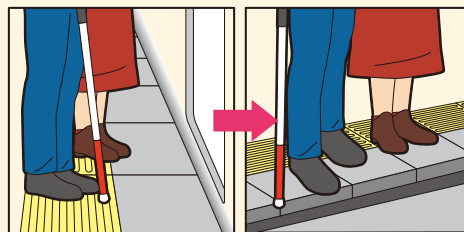
【ホームの移動】



○通勤・通学の場合、所定の位置を決めていることが多いので、ガイドするときは必ず視覚障害のある人に確認しましょう。

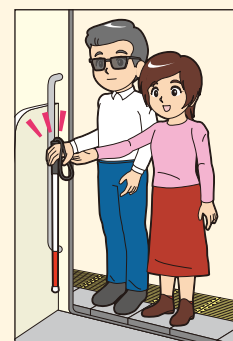
○あらかじめ周囲の状況を説明するか確認しましょう。また、転落、障害物、他の通行人に注意しましょう。

【乗車のしかた】

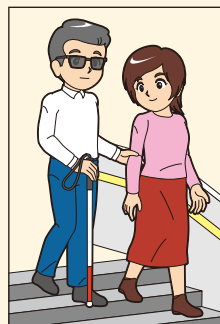


○乗車時は一旦停止。視覚障害のある人に腕をつかんでもらいながらホームの縁を足先で確かめてもらい「ホームと電車の間が20センチくらい空いています」など、具体的に伝えましょう。

○扉が開いたら、視覚障害のある人の手を電車の外側の壁か内部の手すりにガイドしましょう。



応用 ～階段でのサポートのしかた～



○階段に近づいたら止まり、「上り」か「下り」の階段があることを伝えます。

○ガイドが先に進み、視覚障害のある人の歩行リズムに合わせて階段を通過し、階段が終わったら止まり、終了したことを伝えます。

駅ホームでの転落防止へ県が啓発動画を公開

目の不自由な人への声のかけ方やサポートの方法を学ぶことができる動画を埼玉県が公開しています。



詳細＝県交通政策課
(☎048・830・2228)



蕨駅で行った講習会(平成29年5月19日)

使った模擬体験を行い、参加した市民30人は、声かけの重要性を再確認しました。



ボランティア
ガイドヘルプ
基礎講座

私たちにできること～学び編～

地域ぐるみで広げる 理解とサポートの輪

みんなが暮らしやすいまちの実現には、地域ぐるみで視覚障害への理解を深めることがたいせつです。

ここからは点字サークルあじさい(以下あじさい)が主体となり、市民の皆さんと進めている活動を紹介します。

市民と市で歩行介助を学ぶ講座開催

視覚障害のある人に付き添い、歩行介助を行うガイドヘルプ。その基礎を学ぶ「ボランティア・ガイドヘルプ基礎講座」が9月に開かれました。

これは視覚障害のある人の安全な歩行を確保したい、多くのの人に関心を持ってもらいたいという思いから、あじさいと市との協働事業（※）として、開かれた講座です。

実技中心に学べた講座

新たな活動の動きも

南・東・西公民館の3会場で開いた講座には、延べ63人



階段利用時のサポートの実技体験(南公民館)

協働での開催に意義あり 相手の立場になり行動を

Interview

ボランティア
ガイドヘルプ基礎講座講師



かみや かずえ
紙谷 一枝 さん
ガイドヘルパー

こうした講座を市民活動団体と市との協働で行ったのは意義があることで、どの会場の受講生からも熱意が伝わってきました。講座でもお伝えしましたが、サポートするときは相手の立場になり行動することが重要です。また、声をかけて、断られることありますが、気にせず「お気をつけて」と見守ってほしいですね。



小・中学校
点字体験
教室



体験教室の様子（中央東小学校）

が参加。ガイドヘルパーの資格を有する、紙谷一枝さん（10歳 囲み）の指導の下、実技を中心に講座は進められました。二人一組で介助の基本をはじめ、階段の上り下りやドアの開け閉め、椅子への誘導方法などを教わり、受講生からは「アイマスクを着けてみて気持ちが変わった」、「知人が、目が不自由なので実践したい」との声が上がっていました。

体験と交流から始める理解の第一歩

視覚障害のある人が移動や歩行とともに、苦勞するのが情報の収集といわれています。それを補う手段の一つが指先

更に新たな取り組みも動き出しています。あじさいのメンバーと受講者の有志が、ガイドヘルプのボランティア団体を立ち上げようと計画中です（関連12ページ）。メンバーの一人は「視覚障害のある人の外出機会を少しでも増やすことができれば」と意気込みます。地域のなかでサポートの輪が着実に広がっています。

の感覚で文字を読み取る点字です。

縦3点、横2点の6点



を組み合わせ、文字や数字を表現する、この点字の普及のため、あじさいは長年にわたる活動を続け、小・中学校で体験教室を行っています。

名刺作りで点字を体験

関心を持つきっかけに

「点字は身近なところにあるのよ。このふりかけやケチ

Interview ガイドヘルプ基礎講座の受講者

取り組み広げ安心できる環境を

ガイドの立ち位置など基本的事項を学ぶことができ、有意義な講座だったので、必要なときには役立てたいです。こうした取り組みが広がり、皆さんが安心して外出できる環境が整うことを期待します。



やまね 山根 すばる さん
南町在住

ヤップの容器もそう。買い物に行ったら確認してみてね」。これは9月に中央東小学校で行われた点字体験教室のひとこまです。市内の小学4年生は国語の授業で点字をテーマにした教材を学ぶことから、古俣さんなどを含むメンバーが教室に足を運んでいます。

基本的なルールを聞いた後は、お待ちかねの名刺作り。

Interview

あじさいメンバー

体験教室を継続して20年 触れ合いで点字が身近に



みやた ゆみ さん

私たちが体験教室を始めて約20年。小学4年生の授業で点字について学びますが、実際に点字を書き、視覚障害のある人に読んでもらうことで、達成感とともに、その必要性をより感じられるようです。点字が更に身近になり、思いやりのあふれる世の中になってほしいですね。

点字器と点筆を手に、真剣なまなざしで用紙に凸状を記していきます。
完成したら名刺を持ってご挨拶。名前を読んでもらい、うれしそうな子、恥ずかしそうな子など反応はさまざまですが、「すらすらと読んでいく感じがよかった」「凸凹(でこぼこ)していい手触りがよかった」と、みんな点字に興味津々です。

仲間 募集中



あじさいの活動風景

たときに気をつけてほしいお願いごとなどのお話に、児童たちは熱心に聞き入っていました。このような光景は、他の小・中学校でも同様です。視覚障害のある人への理解。こうした地道な活動により、地域のなかで幅広い世代に広がっています。



名刺を持ってご挨拶

点字サークルあじさい

活動日＝毎週金曜日(午前10時～正午)

ところ＝南公民館(南町2-23-19)

問い合わせ＝高橋(たかはし) ☎443・6698

※子ども向けとして、小学生～高校生の点字教室を毎月第2土曜日に南公民館で開催中

計画中

ガイドヘルプボランティアOne&One

視覚障害のある人の外出をサポートするメンバーを募集中です。関心のある人は大條(だいじょう) ☎090・6540・5512へ。

Interview

点字体験教室の参加児童

聞いて体験したいせつさ実感

初めての体験で濁音や小さな文字が難しかったけど、名前を読んでもらえてうれしかったし、目の不自由な人にとって点字はたいせつなものだと分かりました。今度、公民館の教室にも行きたいです。



の だ りょうせい
野田 凌成 さん
中央東小学校4年

1年前倒しで来年3月に設置完了(予定) J R 蕨駅ホームドア



完成イメージ

駅ホーム上の安全対策としてJRが現在進めている蕨駅のホームドアの設置工事は、来年3月に完了する予定です。

～ホームドア整備に関する経緯～

J R 蕨駅のホームドアの整備については、市ではこれまでJ R 東日本(以下J R)と協議を重ね、令和2年度末までに完成する見通しでした。しかし、平成29年1月の蕨駅での事故を受けて、市ではホームドアの早期設置をJ R等に求め、設置が1年前倒しとなり、今年度末に完了します。なお、本事業に関して、市では国や埼玉県とともにJ Rへ補助を行っています。



J R 東日本大宮支社長に要望書を提出する頼高市長(平成29年1月20日)



たいせつなのは相手を思いやる心 みんなが暮らしやすいまちへ

名刺と点字器を持って記念撮影（11月8日・中央小学校）



「な」
にかお手伝いするこ
とはありますか」。
みんなが暮らしやす
いまちへ。まずはその一言か
ら皆さんも始めてみませんか。

実
際に声をかけるのは
勇気がいることです。
しかし、古俣さんを
氣遣った小学生のように、日
常の中で私たちにできること
があるはず。そして一人
ひとりの力は僅かでも、思い
やりの心がつながり広がって
いくことで、視覚障害のある
人だけでなく、高齢者や子育
て中の人にとっても優しいま
ちになっていくでしょう。

木
々が色づき、秋の深
まりを感じるように
なった11月初旬。点
字体験教室を終えた古俣さん
が、あるエピソードを教えて
くれました。「以前一人で歩
いていたら『だいじょうぶで
すか』と声がしたんです。声
の正体は教室で出会った小学
生。私の姿を見て声をかけて
くれたんですよ」とっこり。

障害のある人へ行政がサポート！気軽にご相談を

～相談窓口～

- 福祉総務課障害者福祉係／身体及び知的障害のある人の相談に応じ、手帳の交付や各種サービスなどをご案内します（☎433・7754）
- 保健センター／精神障害のある人の相談に応じ、手帳の交付や各種サービスなどをご案内します（☎431・5590）

～障害者支援団体への補助～

障害のある人やその家族を支援する団体に、活動をサポートする補助金を交付しています（条件あり）。詳しくは福祉総務課障害者福祉係へ。

～市封筒に点字を表記～

市では、今年度から共通封筒に加え、専用封筒にも送付元を点字で表記しています。この取り組みは、点字表記がないと、どこからの郵便物か分からないという、視覚障害のある人たちからのご意見を受けて、希望者に発送しているものです。サービスを利用している一人は、「重要な郵便物と分かるので助かりますね」と話していました。





リポート そこが知りたい 〈139〉

蕨の「いま」を
伝えます!!



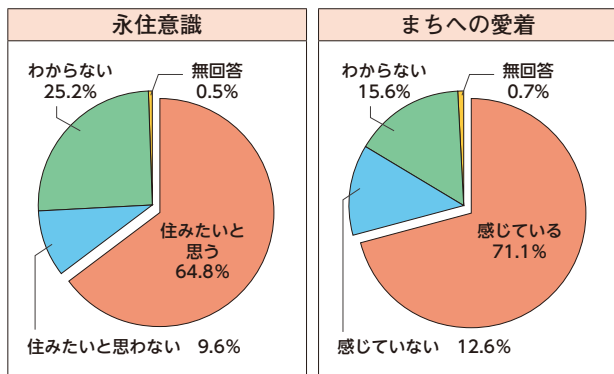
皆さんの声を市政に生かします

市民意識調査の結果まとまる

市では、まちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」に基づき、市民と行政が一体となったまちづくりを推進するため、市民意識調査を毎年実施しています。この度、その結果がまとまりましたので、主な調査項目について紹介します。

住みやすく便利なまち蕨
7割以上が愛着を感じる

皆さんのご意見を市政に生かそうと、毎年実施している市民意識調査。今回の調査では、無作為に抽出した市内在住の18歳以上の男女1,000人を対象に調査票を送付し、429人から回答をいただき



※小数点以下第2位を四捨五入

ました(右囲み)。調査項目は全27項目。そのうち、主な結果について紹介します。初めに、「まちへの愛着」については、「感じている」と答えた人が71.1%と、7割を超える高水準となりました(上グラフ)。その理由としては、「買い物など生活に便利だから」が1位でした。また、「永住意識」については、これからも「住みたいと思う」と答えた人が、64.8%となりました。いずれの結果からも、多くのかたがまちに愛着と満足を感じていることがうかがえます。

令和元年度市民意識調査

調査期間：8月6日～27日
調査内容：
◎まちへの愛着
◎永住意識
◎まちづくり(防災、子育て、高齢期に大切なこと、まちのにぎわいについてなど11分野)
◎重点施策 など全27項目
対象：市内在住の18歳以上の男女1,000人(無作為抽出)
回収率：42.9%(429人)

● 仲間になりませんか

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ



- ▼南園基クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 詳しくはホームページでご確認を八山本・☎432・4543
- ▼竹紫館(剣道) 月・水・金曜日 午後6時半 同館 月2000円 小学生△照井・☎090・8478・8294
- ▼楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4500円△浦島・☎224・5915
- ▼和楽備ストレッチ・脳トレ&ラジオ体操の会 月・水・金曜日 午前6時15分 城址公園 新たに認知症予防教室を開始。詳細はご確認を(費用あり)△平田・☎080・4179・6907
- ▼蕨北町サッカー 土・日曜日・祝日 北小学校 年中△小学生月1500△2000円(未就学児は年間10000円) 活動時間要確認△小泉・☎090・4948・5936
- ▼ねこのみ(市民交流・井戸端会議) 月1回 正午 市内5000円△北田・☎432・8501

～蕨の歴史を語り継ぐ～
中仙道武州蕨宿場まつり



宿場町として栄えた蕨の歴史や文化を現代に伝える「中仙道武州蕨宿場まつり」が11月3日、中山道本町通りを会場に開催されました。今年は市制施行60周年を記念し、織姫道中パレードに小袖侍女や忍者の女性が参加し例年以上に華やかに。訪れた14万人は、タイムスリップしたかのような宿場町を楽しみ、郷土への愛着を深めていました。



パレードは沿道におおぜいの人々が訪れ大盛況

鉄砲隊による迫力ある発砲音が鳴り響きます



ミス織姫に聞きました

伝えていきたい
温かい蕨の魅力

須賀 萌花さん
中央1丁目・20歳



パレードでは沿道からたくさんの声援をいただき、蕨は人とのつながりが温かいまちだと、あらためて感じました。これからはミス織姫として、そんな蕨の魅力を精いっぱい伝えていきたいです。

今後の市政の
重点施策

36項目

上位の結果

重要度		満足度	
1位	防犯対策	1位	消防・救急体制
2位	防災対策	2位	上・下水道の整備、雨水対策
3位	消防・救急体制	3位	子育て支援
4位	交通安全対策	4位	公園緑地の整備、身近な緑と花の充実
5位	市立病院の充実	5位	防災対策

防犯対策



▲町会や警察と連携し、地域ぐるみで防犯対策を推進し、犯罪件数が大幅減に

消防・救急体制



▲災害発生時などに市民の皆さんの生命と財産を守るため訓練に励む消防職員

市民意識調査に関する問い合わせ＝政策企画室（☎433・7698）

昨年同様に関心が集まる
安全で安心なまちづくり

続いては、今後の市政の重点施策36項目についてお聴きした結果です（上囲み）。「重要度」では、1位が「防犯対策」、2位が「防災対策」、3位が「消防・救急体制」と、昨年に引き続き、安全安心に関する分野に関心が集まりました。「満足度」では、1位が「消防・救急体制」、2位が「上・下水道の整備、雨水対策」、3位が「子育て支援」となりました。また、今年度に蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定を行うため、「日本全体で進

む人口減少や高齢化などの人口問題への対応」に関する調査を実施。1位が「子育てしやすい環境づくり」、2位が「医療・介護提供体制の充実」、3位が「妊娠・出産への支援」、4位が「中心市街地の活性化」となり、人口問題への対策として、子育て環境の整備に加え、安心して生活でき、活力のあるまちづくりが求められていることが分かりました。市ではこの結果を市政運営の参考にし、各施策の充実を図っていきます。なお、結果は市役所市民活動推進室や各公民館、図書館、市ホームページで御覧いただけます。

▼北町囲碁クラブ 土曜日 午後1時 北町公民館 年1200円△小林・☎431・3180▽
●参加しませんか

▼江戸あるき「江東区芭蕉記念館とゆかりの地をめぐる清澄庭園へ」7日12日 午前9時に蕨駅改札前に集合 7000円△富山・☎090・2764・1342▽
▼日帰り旅倶楽部参加者説明会 日時等の詳細は電話でご確認ください△岩本・☎090・3431・4295▽
▼子どもミュージカルラビコ25周年記念発表会「アラジンと魔法のランプ」1月12日 午後1時と午後3時半 東公民館 無料△永沼・☎452・8143▽

●ご相談ください

▼蕨断酒会（酒害相談） 3日 中央公民館 13日 南公民館 19日 旭町公民館 午後7時 語り合いの場△高橋・☎090・2302・8510▽
●無料で差し上げます

▼室内犬用のハウス 規格△縦49センチ×横63センチ×高さ10センチ状態△新品同様 条件△取りに来てくれる人△大野・☎443・6867▽

▼革細工の刻印（100本以上）規格△お問い合わせてください状態△新品同様 条件△取りに来てくれる人△小森・☎431・7631▽



写真で振り返る

わらびこの一年



2019

12月を迎え、今年もあと僅かとなりました。16、17日には市政やイベントなど蕨のこの一年を写真とともに振り返ります。
⑥＝市制施行60周年事業（市による新規・拡充分）



①第73回蕨市成年式



④苗木市・藤まつり



⑤市制施行60周年記念オープニングセレモニー



③大田原市とふれあい交流協定締結



②市内4か所目となる特別養護老人ホーム「レーベンホームわらび」が開設



⑥蕨市小学生将棋大会



⑧わらびりんごフェア

7月			6月			5月		4月			3月			2月			1月																																					
7日	6日	20日	16日	9日	3日	2日	1日	26日	29日	23日	13日	1日	28日	24日	19日	16日	3日	23日	17日	16日	15日	12日	8日	7日	1日	14日	13日	9日	8日																									
社会福祉センターまつり			わらび防災学校開校（来年3月15日予定）			蕨市西口新図書館ワークショップ（・7月13日）		蕨市長選挙・蕨市議会議員一般選挙 子育て世代包括支援センターを保健センター内に開設		クリンわらび市民運動			蕨市小学生将棋大会⑥			蕨市西口新図書館ワークショップ（・7月13日）			第74回蕨市成年式①			蕨市西口地区市街地再開発事業等の都市計画変更			ブラインドサッカー体験会 わらび郷土かるた大会			避難所運営訓練（北小学校） 歴史民俗資料館特別展（～4月29日） 消費生活展（～24日）			蕨市町会長連座談会創立60周年記念式典 桜のまち南町文化展（～17日） 蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画を策定 第17回春が来たコンサート 蕨市立病院将来構想策定 栃木県大田原市と「わらび」交流協定を締結③			「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン 後期実現計画スタート 病児・病後児保育施設を開設（病児保育室にのびのび） 小規模保育園を新たに開設（保育ルームFelicie蕨Ⅱ園） 民間留守家庭児童指導室を開設（キッズクラブ蕨中央） 市長タウンミーティング（～21日） 松本隆男氏が教育長に再任 ⑥苗木市・藤まつり④ ⑥オープニングセレモニー⑤			子育て支援フェスタ・こどもまつり			東京2020オリンピック聖火リレーのルートに決定 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス開始 蕨市長選挙・蕨市議会議員一般選挙 子育て世代包括支援センターを保健センター内に開設			蕨市西口新図書館ワークショップ（・7月13日）			わらび防災学校開校（来年3月15日予定）			⑥あさがお&ほおずき市（～7日） ⑥わらびつまつり（～7日）⑦			社会福祉センターまつり		



⑩ 蕨市総合防災演習



⑦ わらてまつり



⑪ 全国消防救助技術大会で
蕨市消防本部チームが初入賞



⑫ 第5回蕨市民音楽祭



⑬ 生涯学習フェスティバル（塚越地区）



⑭ わらび健康まつり・歯ッピーわらび



⑨ わらび機まつり

12月	11月	10月	9月	8月	7月
予定 1日 中央公民館・勤労青少年ホームと西公民館にエレベーター設置 26日 園芸品評会（～23日） 20日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 16日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校）	16日 ウォーキングイベントin蕨市民公園 15日 蕨市アウトメディア推進大会 14日 蕨市公募美術展覧会（～24日） 12日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 11日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 3日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 2日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校）	26日 歴史民俗資料館オータムギャラリー2019（～12月15日予定） 25日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 20日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 12日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 6日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校）	21日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 14日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 6日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 2日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校）	31日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 25日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 18日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 2日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校）	14日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 9日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 28日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 20日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校） 19日 ⑥お祝い献立による交流給食（東小学校）

旬の産直野菜並ぶ園芸祭

蕨市園芸緑化研究会の皆さんが丹精こめて育てた農作物を直売する「園芸祭」が、10月25日と26日の2日間、和楽備神社で開かれました。会場ではネギやダイコンなど約50品目に加え、わらびりんごサイダーやわらびりんごシャーベットも販売され、延べ226人の人出でにぎわいを見せていました。



まちの話題

ここでは10月下旬から11月中旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します



トリック・オア・トリート

10月27日、中央地区を中心に「ハロウィンワールド in WARABI」と「親子でハロウィンを楽しもう」が開かれました。お化けやキャラクターなどさまざまな仮装をしたおおぜいの参加者は、地域の人からお菓子をもらいながら華やかに街をパレード。和気あいあいと交流を深めていました。

中学生たちが思いを主張

「中学生の主張inわらび」が10月31日、市民会館で開催されました。成人を迎える5年前である節目の年に、市内3中学校の3年生の代表6人が日頃の思いなどを発表するこの催し。代表生徒たちは各校の2年生ら444人を前に堂々と主張を行い、社会の一員としての自覚を高めていました。



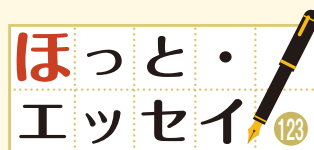
「ハローわらび」12月の番組表

市からのお知らせ・地域の話などをお送りします

放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	11/29(金)～12/5(木)	6(金)～12(木)	13(金)～19(木)	20(金)～26(木)	27(金)～1/2(木)
00	タウンタウン たんぼほ保育園の観劇会 アルコール関連問題講演会	タウンタウンワイド ウィーンフィルの 演奏会in東中 金婚祝式	タウンタウン 園芸品評会 PTA連合会研究協議会・ 青少年蕨市民大会	タウンタウン スポーツ推進協議会の交流会 塚越児童館の クリスマス会	タウンタウンワイド むしばんコンサート 脳活教室
10	蕨市政なう！ 協働で進める 住みよい蕨のまちづくり	ウォーキングイベント in蕨市民公園 双子織体験講座	特集・ウィークリープラス 市制施行60周年 お祝い給食in東小	蕨市政なう！ 2019 映像で振り返る 蕨市政この1年	お正月飾りの プリザーブドフラワー作り さつき保育園のお餅つき
20	採れたてスポット 地域の話が 盛りだくさん	特集・ウィークリープラス 中学生の主張inわらび	市政ガイド 市民意識調査 結果がまとまる	採れたてスポット 年末年始の お知らせほか	特集・ウィークリープラス インタビュー ～2020年の抱負～
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD／放送終了後から貸し出します 無料 詳細・貸し出し場所＝秘書広報課（☎433・7703）



市制60周年にふさわしく
素晴らしい記念式典に

市長 頼高 英雄

先日、市制施行60周年記念式典が盛大に開催されました。私は式辞の中で、蕨のまちに貫かれてきたものを「ふるさと蕨への愛着・誇りの高さ」「自分たちのまちは自分たちで創ろうという精神」「次代を担う人づくりへの熱い思い」と述べさせていただきましたが、蕨フィルと一中音楽部の皆さんによるオープニング、ミュージシャンとして全国で活躍している坂田明さんのけ

やく文化賞や蕨の発展にご貢献いただいた方々の自治功勞者表彰、著名人の方々のお祝いメッセージ、小中学生の60周年作文の表彰と最優秀作文の朗読、蕨出身のアナウンサー小島奈津子さんの記念講演など、そんな蕨の素晴らしいさにあふれた式典となりました。ビデオメッセージの中で、アルフィーの高見沢さんは「パワーがあるまち」、俳優の勝村さんは「ホスピタリティーがあるまち」、脚本家の池端さんは「顔が見えるあったかいまち」と語ってくれましたが、そんな蕨の素晴らしい、優れた地域力を生かして、これからも、市長として、全国に誇れる蕨のまちづくりに全力を尽くしていきたいと思っています。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は5日です。ただし、1月は9日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。



ウォーキングで健康UP

11月16日、健康増進を目的に「ウォーキングイベントin蕨市民公園」が開催されました。参加した102人は、指導員から歩き方のこつなどを学んだ後、紅葉に彩られた公園内のコースをウォーキング。途中のチェックポイントでスタンプラリーも楽しみながら、心地よく汗をかいていました。

ゆうき
結希ちゃん（3歳0か月）
やまと
大和ちゃん（1歳2か月）
わか い まさゆき
若井 政幸さん



イリさんの 長女・長男

南町4丁目



が家のアイドル

「しっかり者でデイズニープリンセスのまねが得意な姉・結希と、ちよっぴりやんちゃでおもちゃの車のタイヤが大好きな弟・大和。テーブルの上などに大和が登ろうとすると、結希はすぐに「危ないよー」と私を呼んでくれるので、とても助かってます。二人とも、大きくなったらそれぞれ好きなことを見つけて、一生懸命にがんばってほしいですね」と、母親のイリさん。



双子織
コインケース作り

11月19日、西公民館で「双子織体験講座」が行われました。11人の参加者は、表地が蕨の伝統織物である双子織、裏地がアフリカ布のコインケース作りに挑戦。すてきな作品が出来上がり、参加した一人は「家族にプレゼントします」とほほえんでいました。



大人も多い練習環境で腕を磨く下山さん

輝いています

ひと

ネオホッケー全国大会最優秀選手

しも やま じょう じ
下山 讓士 さん

世界を見据えた飽くなき挑戦

皆

さんは「ネオホッケー」というスポーツをご存じでしょうか。アイスホッケーのように互いのゴールに得点し競い合う、体育館などの屋内で行われる団体球技で、危険な行為を規制しているため、幼児からシニアまでいっしょに楽しむことができます。第二中学校2年の下山讓士さん(14歳・中央4丁目)は、8月に開催された全国小学生&中高生ネオホッケー大会・中高生混成の部に、市内の複数のクラブの選手から成るチームの一員として出場。自身二度目となる優勝を成し遂げ、最優秀選手に選ばれました。小学1年生のときに、ネオホッケーをしている母と姉に

勧められ、市内のクラブ「蔵ガラスホッパーズ」に入った下山さん。すぐに競技の魅力に目覚め、3年生で出場した小学生の全国大会では3位となるなど上り調子でしたが、5年生では予選敗退を経験。そのときのショックで一時はやる気を失い、練習に顔を出さないこともありました。

殻を破ったのは、中学校入学後。それまで小学生どうしが多かった練習環境が変わり、大人たちに混じってプレーする機会が増えると、「周囲の高いレベルになんとか追い付きたい」と奮起し、一つ一つのプレーに熱が入るようになり、力をつけて挑んだ昨年の全国大会・中高生混成の部でついに優勝を果たします。そしてセットプレーでのシュート技術を磨いた今年は、昨年とは別のチームで出場し、準々決勝以降で合計5得点の大活躍。優勝の立役者となりました。現在、来年3月の日本小学生&中高生ネオホッケー選手権に向けて慢心せずに練習する日々。将来は、ネオホッケーに近い競技・フロアボールの日本代表になり、世界で活躍したいです。更なる高みを目指し、挑戦は続きます。

今月の河鍋晩斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No.43 —

江戸時代、王子の名所といえは王子稲荷。毎年大晦日に狐たちは王子稲荷に参詣するため、装束榎で衣装を整え、松明を灯して王子稲荷を目指すと言われてきました。本図は王子稲荷にまつわる芝居や伝説などを、晩斎と国周・国義が合作した錦絵です。晩斎が描いたのは左側。狐たちは、装束榎の前で郵便夫や羽織にシャッポという和洋折衷の姿や、ドレスアップした女性やポストなどに化けています。文明開化への諷刺が込められた作例といえるでしょう。

河鍋晩斎記念美術館 12月23日(月)まで

「晩斎一門が描くもののけの世界」展 同時開催
「写真で見る 日本初のマンガ雑誌『絵新聞日本地』」展

開館 = 午前10時～午後4時

休館 = 木曜日・毎月26日～末日・年末年始期間

ところ = 南町 4-36-4

入館料 = 一般600円 高校生・大学生500円

65歳以上500円 小・中学生300円

※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください。
(20人以上の団体は要予約)

詳細 = 同館(☎441・9780)

Kyosai
Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の晩翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 晩斎

天保2年(1831)
～明治22年(1889)



晩斎・国周・国義 合筆
「東京開化名所記 王子稲荷社」
明治7年(1874) 沢村屋板 大判錦絵



展覧会の詳しい
内容は美術館の
ホームページを
ご参照ください